

卓 話

## 『ベトナム学校支援』

早川 悟史



アジア学校校舎建設プロジェクト2013に支援にご協力お願いします。

支援費用 700万円 5教室+机・イス

一口1万円として支援してお願いします。

アースバンク倶楽部 早川悟史

十六銀行 忠節支店 普通1475797

## 資料

(1) アジア学校校舎建設プロジェクト2013

(2) ベトナム ドンナイ省 ビエンホア市

グエン・チー・タン小学校 新校舎建設計画 (増設)

# アジア学校校舎建設プロジェクト2013

アースバンク倶楽部

## アースバンク倶楽部とは (<http://ameblo.jp/earthbankclub/>)

「善循環の創造」を理念にかかげ、2012年1月1日に設立しました。

今回のプロジェクトは、認定NPO法人アジア教育友好協会が企画したものに協力しアジアの小学校を支援する運びとなりました。

## 認定NPO法人アジア教育友好協会とは (<http://www.nippon-aeffa.org/>)

2004年6月に設立され、ともにアジアに生きる者として、主としてインドシナ半島の極貧地域に暮らす少数民族の子どもたちを対象に、健康にして、希望を持って成長できる教育環境をともに作る活動を行っております。

## 2013年支援学校

ベトナム ドンナイ省 ビエンホア市 グエン・チー・タン小学校 新校舎建設計画(増設)

## 支援内容

### ドンナイ省の状況(2012年8月現在)

ドンナイ省の省都ビエンホア市はホーチミンから北東へ車で1時間程度。ベトナム戦争中はアメリカ軍と南ベトナム政府軍の基地があったが、今では多くの工業団地があり、外資系企業が多く進出している。日本企業の進出は200社ほど。ドンナイ省は兵庫県と姉妹提携をしており、非常に親日的である。

### 学校建設地域の状況

人口は10万人近く、工場労働者の流入にともない毎年5000人程人口が増加している(人口のうち45000人程が労働者)。近くの6、7地域からこの学校への通学者がいる。

### 学校の状況

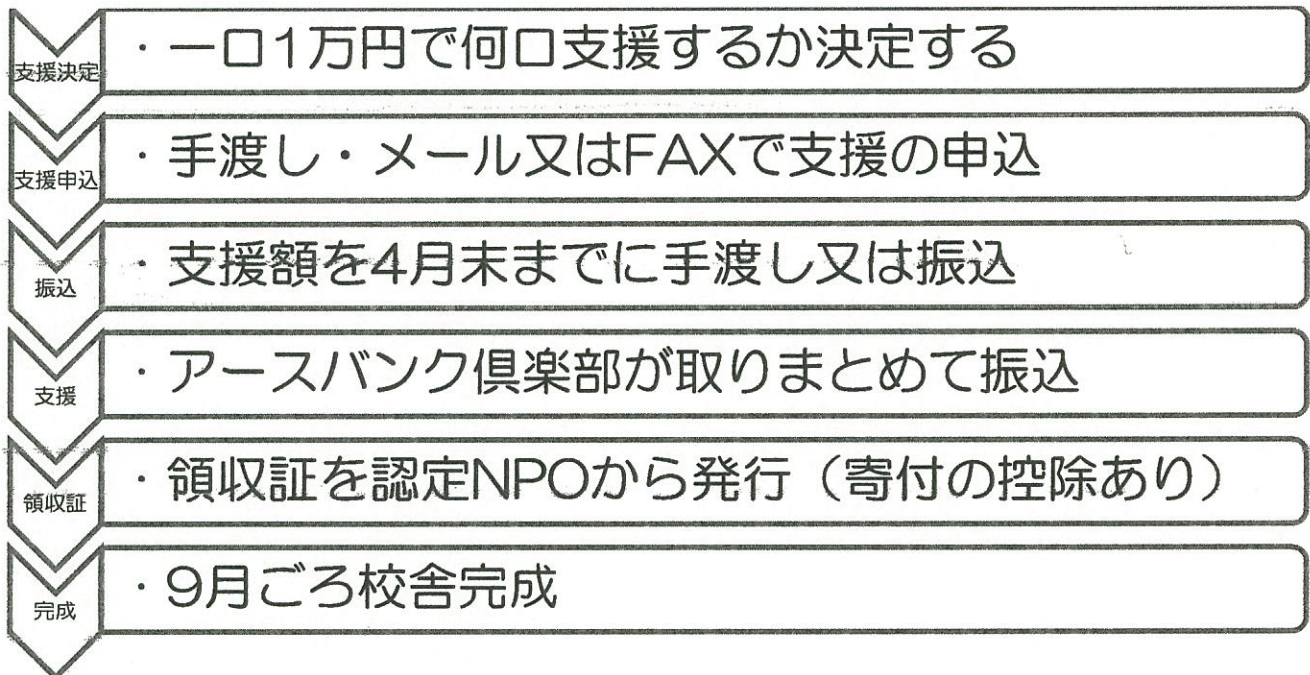
グエン・チー・タン小学校では現在生徒数2552名が学んでいる。54クラス(27教室)で先生は76名。工場の増加にともない、そこで働く職員の子どもたちの入学が増え、毎年100名のペースで子どもが増えている状態。教室は政府基準で1クラス35名以下にしないといけないところ、現在50名が入る過密状態となっている。現在①7:00-9:30、②10:00-13:00、③13:30-17:00の3部制で行っているが、児童数が過密のため昼間は特に暑く学習に集中できる環境ではない状態が続いている。校舎の敷地内の土地に、新校舎(5教室)を建設します。教室数が足りずに過密状態で勉強している子どもたちが、集中して勉強することができる環境をととのえます。今後も子どもたちが増える予定。

## 支援費用

700万円 5教室+机・いす  
一口1万円として皆様に支援していただきます。

取りまとめアースバンク倶楽部振込先  
アースバンク倶楽部 早川 悟史 (アースバンククラブ ハヤカワ サトシ)  
十六銀行 忠節支店 普通 1475797

## 支援の流れ



\*皆様の名前を刻んだプレートも校舎に掲示予定です

下記内容をメール([info@earthbank.co.jp](mailto:info@earthbank.co.jp))又はFAX(058-296-6218)でお申し込みください

お名前 \_\_\_\_\_ ご住所 \_\_\_\_\_

数 \_\_\_\_\_  領収証宛名 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_ E-mail \_\_\_\_\_

ブログでお名前を掲載してもよろしいでしょうか? (実名OK・イニシャルOK・匿名のみ)

問い合わせ先 アースバンク倶楽部  
岐阜市正木北町4-1 早川産業(株)内 058-296-6217 早川悟史

ベトナム ドンナイ省 ビエンホア市  
グエン・チー・タン小学校 新校舎建設計画(増設)

2013年2月18日

認定 NPO 法人 アジア教育友好協会

◆プロジェクト概要

ベトナム最大の都市ホーチミンから1時間程度にあるドンナイ省は数多くの日系企業が進出している地域である。日本に関係する労働者が多いこの都市に「**日本ベトナム友好年(日本ベトナム外交関係樹立40周年)**」にあたる本年、日本とベトナムの交流のシンボルとなるような学校を建設する。また、建設には日本の企業だけでなく、ベトナムの企業・関係者へ参加を広く呼び掛けることにより、「**日越共同事業**」としての色合いを鮮明にし、今後の友好関係の礎とする。建設後は学校に通うベトナム人労働者の子どもたちが、日本について理解を深められるような交流を、日本の学校と提携しながら継続していく。



◆建設地:ベトナム ドンナイ省ビエンホア市ロンビン区

ホーチミンから北東へ車で1時間半程度の位置にある小学校の敷地内。ビエンホア市はベトナム戦争中アメリカ軍と南ベトナム政府軍の基地があった土地。今では多くの工業団地があり、日本企業の進出は200社ほど。地元民への日本企業の評判は非常に良く、ドンナイ省は兵庫県とも交流があるなど、非常に親日的である。人口は10万人近く、工場労働者の流入にともない毎年5000人程人口が増加している。

◆予算:700万円(5教室+机・椅子)

◆建設計画:2013年4月:着工

8月:建設完了(9月の新学期から暫定的に使用開始)

10月~12月頃:開校式

◆賛同者(敬称略):

安倍昭恵(安倍総理夫人)

遠藤利明(衆議院議員、アジアの子ども達に学校をつくる議員の会代表)

笹川陽平(日本財団会長)

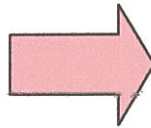
谷崎泰明(駐ベトナム日本大使)

◆対象の学校の状況

ゲン・チー・タン小学校には**現在 27 教室**があり、**児童数 2552 名**、教師 76 名。日本企業を含む海外からの企業進出・工場増加にともない、そこで働く労働者の子どもの入学が増え、毎年 100 名のペースで児童数が増加。**政府基準では 1 クラス 35 名以下**だが、**過密状態**となっており、全日制の授業を受けることができない。**現在①7:00-9:30、②10:00-13:00、③13:30-17:00 の 3 部にわけて入れ替え制で授業を実施**。児童数が多く教室内が過密のため昼間は特に暑く学習に集中できる環境がなく、時間不足のため満足な学習ができていない状況にある。

**現在:**

1 教室あたりの児童数約 95 人。  
1 クラス 31-32 人で勉強するために  
3 部制で運営している。



**5 教室建設後:**

1 教室あたりの児童数約 80 人。  
1 クラス 40 人で勉強できるようになり、  
2 部制が可能となる。学習時間が増加。  
これを呼び水とし、ベトナム政府にも追加  
5 教室を訴える。



**(10 教室建設となれば...)**

1 教室あたりの児童数約 68 人。  
1 クラス約 34 名での、2 部制が可能。  
(政府基準では 1 クラス 35 名以下)



現在の校舎



ゲンチータン小教員

ゲン・チー・タン小学校  
(ドンナイ省)



建設候補地

**橙色が既存の教室**  
**薄紫色が新校舎(予定)**

